◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.477　（2025年度No.1）**　 　2025/1/10

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆

**謹賀新年**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2-3** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **3-9** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **9-10** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **10-15** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **15-18** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)**マクドナルド関連は巻末**  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **19-34** |

1. **[食科協関係](#食科協関係)**

12月27日　 かわら版476号を発行・かわら版ニュース＆トピックス463号を発行

12月27日　ニュースレター256号を発行

01月10日　 かわら版477号を発行・かわら版ニュース＆トピックス463号を発行

常任理事の藤平様から講演会のご案内をいただきました

**市民フォーラム　食品加工・製造工程に用いるロボットの衛生的危害要因の分析等に関する考察**

**開催：2025年3月08日　申込締切：2025年3月1日（土）**

開催概要は下記のとおりです。

URL：　<https://www.jsme.or.jp/event/25-22/>

**《開催概要》**

「食品加工・製造工程に用いるロボットの衛生的危害要因の分析等に関する考察」

<企　画>産業・化学機械と安全部門　食の安全委員会

<協　賛>一般社団法人日本食品機械工業会

<開催日時>2025年3月8日（土曜日）13:30～15:40

<会　場>オンライン開催（Zoom）

※Zoom参加用URLとミーティングIDとパスワードは開催日3日前を目途にお申込時のメールアドレスへ通知いたします。

**【趣　旨】**

近年、我が国における労働人口の減少が顕在化しつつあること等から、食品生産工程の更なる自動化に対する関心が高まっている。

生産工程の自動化の1つとして、ロボット(以下、高度自動化機械を含む)を用いた食品の自動調理、加工済み食品の定量盛付等、多岐に渡り次々と開発・実用化されている。

食品機械・装置はGHP（Good Hygienic Practice）を考慮しなければならず、GFSI（Global Food Safety Initiative）はベンチマーク要求事項のスコープJ1で、リスクアセスメントを行い、危害要因の低減に取り組むこととしている。

食品機械に関する危害要因（ハザード）の分析は、すでに食品機械JIS(JIS B 9650-2)等が定めているが、食品加工・製造工程に用いるロボットに特化した考察は、規格作成時に行っていない。

このようなロボットに対する衛生的危害要因の分析について、農林水産省の『食品製造現場におけるロボット等導入及び運用時の衛生管理ガイドライン(2024)』が言及する。

そこで、今年度のフォーラムは、農林水産省 新事業・食品産業部様及びコネクテッドロボティクス様に、主な危害要因の分析作業等についてご報告頂き、マックスバリュ東海様に食品加工・製造ラインへのロボットの導入事例についてご報告いただく。

以上の報告を通じ、食品加工・製造工程へのロボット等の高度自動化技術の導入に関する情報普及の一助とする。

【プログラム】終了時間は多少超過する可能性があります。

（司会・進行 笹倉 食の安全委員会 委員長）

13：00～　　　　　　　オンライン会議室開場

13：30～13：35　　　　開会挨拶（藤平 委員）

13：35～13：55（20分）

【講演1】コーデックス一般原則が定める衛生設計要求と衛生的ハザードについて

（講師：大村 宏之 氏 (一社)日本食品機械工業会 事業部長）

13：55～14：15（20分）

【講演2】食品工場へのロボット普及に向けた農林水産省の取組

（講師：西嶋 英樹 氏 農林水産省 新事業・食品産業部 食品製造課　課長補佐）

14：15～14：25 休憩（10分）

14：25～14：55（30分）

【講演3】使用者視点からの食品加工・製造工程用ロボットに対する衛生面の要求

（講師：遠藤 真由美 氏 マックスバリュ東海㈱

商品本部デリカ商品統括部長兼ダイバーシティ推進室長）

14：55～15：15（20分）

【講演4】食品製造工程用ロボットに関する衛生的ハザード

（講師：熊谷 敦 氏 コネクテッドロボティクス㈱ マネージャー）

15：15～15：35 質疑応答（20分）

15：35～15：40 閉会挨拶（野呂 委員）

【参加費】

無料（定員：90名）

**申込締切 2025年3月1日（土）　※定員となり次第締め切らせていただきます。**

【申込方法】以下のURLから**2025年3月1日（土）**までにお申込み下さい。

【特別講演会の内容に関する問い合わせ先】

一般社団法人日本食品機械工業会　事業部技術課 笹倉健

Tel. 03-5484-0981

[sasakura@fooma.or.jp](mailto:sasakura@fooma.or.jp)

【申込等に関する問い合わせ先】

担当職員　野口／E-mail: [noguchi@jsme.or.jp](mailto:noguchi@jsme.or.jp)

詳細、お申し込み方法は下記のURLのページをごらんください。

URL：　<https://www.jsme.or.jp/event/25-22/>

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**■食品に関するリスクコミュニケーション「輸入食品の安全性確保に関する意見交換会」を開催します　2024/12/24**

**２月３日に東京、２月５日に大阪で開催。参加者を募集**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/1111212865_00039.html>

　　厚生労働省は、食品に関するリスクコミュニケーション「輸入食品の安全性確保に関する意見交換会」を、２月３日（月）に東京で、２月５日（水）に大阪で開催します（事前申込制、参加無料）。このたび、本意見交換会への参加者を募集します。

　今回の意見交換会では、令和７年度の輸入食品監視指導計画（案）や輸出国での衛生確保対策などについて、行政が情報提供を行うとともに、食品関係事業者が輸入食品の安全性確保に関する取り組みについて講演を行います。その後、消費者、事業者、行政と参加者との間で輸入食品の安全性確保について意見交換を行います。

　詳しくは、開催概要と別紙１、２をご覧ください。

参考

　　厚生労働省では、輸入食品の安全性を確保するため、毎年度「輸入食品監視指導計画」を定め輸出国での衛生対策の推進や輸入時の検査などの監視指導に取り組んでいます。また、消費者、事業者、行政の三者が集まり、輸入食品の安全性確保に関する情報・意見交換を通じて、相互理解を目指すための活動を毎年行っています（食品に関するリスクコミュニケーション）。

　なお、輸入食品の安全性確保に関する情報は、厚生労働省のウェブサイトに掲載しています。

輸入食品監視業務

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/yunyu_kanshi/index.html>

別紙１　開催案内チラシ（東京会場）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11131500/001361934.pdf>

別紙２　開催案内チラシ（大阪会場）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11131500/001361935.pdf>

１　開催概要



<https://abc-kaigishitsu.com/tokyo_yaesudori/access.html>

<http://www.civi-c.co.jp/access.html>

２　主催　厚生労働省

３　募集人数

東京会場 130人（先着順）

大阪会場 100人（先着順）

４　プログラム内容

（１）情報提供・講演

１．「輸入食品の安全性確保について（令和７年度輸入食品監視指導計画（案））」

厚生労働省 健康・生活衛生局 食品監視安全課 輸入食品安全対策室

（東京会場）室長　　福島　和子

（大阪会場）室長補佐　　新井　剛史

２．「輸入食品の安全性確保の取り組み（輸出国での衛生確保対策について）」

厚生労働省 健康・生活衛生局 食品監視安全課 輸入食品安全対策室

（東京会場）衛生専門官　　矢川　雅崇

（大阪会場）ＨＡＣＣＰ査察専門官　　横山　涼子

３．「輸入食品の安全・安心にかかる事業者の取り組みについて」

キリンホールディングス株式会社　品質保証部　主査　　太田　優　 氏

（２）意見交換

・ファシリテーター

公益社団法人　日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

専門委員　　蒲生　恵美　氏

※登壇者：上記情報提供・講演者の３人

５　参加申込要領

（１）申し込み方法

　　　参加をご希望される方は、インターネット、電子メールのいずれかの方法でお申し込みください。幅広い参加者を募る観点から、同一団体からの複数名の参加はご遠慮いただく場合があります。

インターネット

　東京会場

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe6oHt1HZQb_nGbdPZ2ST8CCa3dTonSMMkqRNBqiEu9c87C-A/viewform?usp=dialog>

　　大阪会場

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdOmLQFwOl5buUQIUIxyK_NgBnP9dWT_hl6sDmqkaF2kk-uw/viewform?usp=dialog>

　　上記の「参加申込み入力フォーム」に必要事項を明記の上、お申し込みください。

　電子メール

<kikakujouhou@mhlw.go.jp>

希望会場、別紙の参加者記入欄の項目を明記の上、上記の申込先にお送りください。

　　・電話でのお申し込みは受け付けておりません。

・規定人数に達した場合、申し込み締め切り日より前に募集を締め切ることがありますので、あらかじめご了承ください。

・お申し込みによって得た個人情報は厳重に管理し、参加確認に関する問い合わせなど、ご本人への連絡を行う場合に限り利用します。

　（２）留意事項

１．参加の可否：

・参加可能な方にのみ「参加証」をお送りします。「参加証」は、当日ご持参いただくか、携帯電話などの端末に画面表示させる形でご用意ください。

・１月28日（火）までに何も連絡がなかった場合には、お手数ですが「７　申し込みに関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

２．公開の原則：

・本会は公開ですので、発言者、参加者の写真や映像が報道・配信される可能性があることをあらかじめご了承ください。

・意見交換会の内容（配付資料、議事録など）は、終了後に厚生労働省のウェブサイトで公表する予定です。なお、希望されない方にあっては個人が特定できないように配慮します。

３．留意事項：

・意見交換会への参加にあたっては、次の留意事項を遵守してください。これらを守っていただけない場合は、参加をお断りする場合があります。

・携帯電話などの電源はお切りいただくか、マナーモードに設定ください。

・意見交換会の開催中は、静粛を旨とし、以下の行為を慎んでください。

(ア)発言者の発言に対する賛否の表明または拍手

(イ)意見交換時における長時間の発言

(ウ)開催中の入退室（ただし、やむを得ない場合を除く）

(エ)会場でのカメラ、ビデオ、ICレコーダーなどを使った録音や録音機器の使用（報道関係者を除く）

(オ)飲食（お茶などを除く）、喫煙

・銃砲刀剣類その他危険なものを会場に持ち込まないでください。

・会場参加における新型コロナウイルス感染症等の対策について

(ア)当日体調不良や、発熱等の風邪症状がある場合は、参加を控えてください

(イ)着席位置等は職員の指示に従ってください

・その他、事務局職員の指示に従ってください。

**■令和６年度輸入食品監視指導計画に基づく監視指導結果（中間報告）の公表　2024/12/20**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_46917.html>

　　厚生労働省において、令和６年度輸入食品監視指導計画に基づく、令和６年４月から同年９月までの監視指導結果（中間報告）を取りまとめましたので、公表します。

主な内容　［ ］内は令和５年度同期間の実績値、今年度の数値はいずれも速報値

令和６年４月から同年９月までの輸入届出件数は1,248,232件［1,197,058件］であり、輸入届出重量は約11,696千トン［約11,098千トン］でした。これに対し、104,714件［102,256件］の検査（モニタリング検査27,075件［29,145件］、検査命令34,338件［30,942件］、自主検査43,963件［42,005件］等の合計から重複を除いた数値）を実施し、このうち374件［379件］を食品衛生法違反として、積み戻しや廃棄等の措置を講じました。

海外情報等に基づく緊急対応として、金属片混入のおそれのあるオーストラリア産ワニ肉について積み戻し等の措置、リステリア・モノサイトゲネス汚染のおそれのあるフランス産ナチュラルチーズについて積み戻し等の措置を講じました。

本結果は、厚生労働省ホームページ内「輸入食品監視業務」のページにも掲載しています。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/yunyu_kanshi/kanshi/index.html>

**■原子力災害対策特別措置法第20条第２項の規定に基づく食品の出荷制限の解除　2024/12/25**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_47677.html>

　本日、原子力災害対策本部は、原子力災害対策特別措置法に基づき出荷制限が指示されていた以下について、解除を指示しました。

（１）宮城県栗原市及び大崎市で採取された野生のきのこ類（クリタケに限る。）（県の定める出荷・検査方針（※）に基づき管理されるものに限る。）

（２）栃木県壬生町で産出されたシイタケ（露地において原木を用いて栽培されたものに限る。）（県の定める管理計画に基づき管理されるものに限る。）

（※）非破壊式放射能測定装置を用いて、スクリーニング検査を行い、スクリーニングレベル以下のものは出荷等が可能。

１．宮城県に対して指示されていた出荷制限のうち、栗原市及び大崎市で採取された野生のきのこ類（クリタケに限る。）（県の定める出荷・検査方針に基づき管理されるものに限る。）について、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から宮城県への指示は別添１のとおりです。

（２）宮城県の申請は、別添２のとおりです。

２．栃木県に対して指示されていた出荷制限のうち、壬生町で産出されたシイタケ（露地において原木を用いて栽培されたものに限る。）（県の定める管理計画に基づき管理されるものに限る。）について、本日、出荷制限が解除されました。

（１）本日付けの原子力災害対策本部から栃木県への指示は別添３のとおりです。

（２）栃木県の申請は、別添４のとおりです。

３．なお、原子力災害対策特別措置法の規定に基づく食品の出荷制限及び摂取制限の指示の一覧は、参考資料のとおりです。

【参考１】原子力災害対策特別措置法 －抄－

（原子力災害対策本部長の権限）

第２０条 （略）

２ 原子力災害対策本部長は、当該原子力災害対策本部の緊急事態応急対策実施区域及び原子力災害事後対策実施区域における緊急事態応急対策等を的確かつ迅速に実施するため特に必要があると認めるときは、その必要な限度において、関係指定行政機関の長及び関係指定地方行政機関の長並びに前条の規定により権限を委任された当該指定行政機関の職員及び当該指定地方行政機関の職員、地方公共団体の長その他の執行機関、指定公共機関及び指定地方公共機関並びに原子力事業者に対し、必要な指示をすることができる。

３～１０ （略）

【参考２】「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」（原子力災害対策本部：最終改正 令和６年３月26日）

（別添１）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001361800.pdf>

（別添２）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001361801.pdf>

（別添３）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001361803.pdf>

（別添４）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001361804.pdf>

（参考資料）<https://www.mhlw.go.jp/content/11135000/001361805.pdf>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１４２５報）　2025/1/7**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_48059.html>

　１　自治体の検査結果

宮城県、山形県、栃木県、さいたま市、千葉市、文京区、横浜市、川崎市、静岡県、滋賀県

　※ 基準値超過　５件

　No. 317 宮城県　　 イノシシ肉　　　 　　（Cs ： 120 Bq / kg )　大崎市

　　　No. 318 宮城県　　 イノシシ肉　　　 　　（Cs ： 110 Bq / kg )　大崎市

　　　No. 337 宮城県　　 イノシシ肉　　　 　　（Cs ： 120 Bq / kg )　大崎市

　　　No. 338 宮城県　　 イノシシ肉　　　 　　（Cs ： 130 Bq / kg )　大崎市

　　No. 339 宮城県　　 イノシシ肉　　　 　　（Cs ： 130 Bq / kg )　大崎市

２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　　 ※ 基準値超過 13件

　　　 No. 894 福島県　　　イノシシ　　　 　　（Cs ：4300 Bq / kg )　飯館村

　　　 No. 902 福島県　　 イノシシ　　　 　　（Cs ： 160 Bq / kg )　鮫川村

No. 907 福島県　　 イノシシ　　　 　　（Cs ： 170 Bq / kg )　相馬市

　　　 No. 911 福島県　　 イノシシ　　　 　　（Cs ： 160 Bq / kg )　相馬市

No. 912 福島県　　　イノシシ　 　　　　（Cs ：1100 Bq / kg )　伊達市

　　No. 917 福島県　　 イノシシ　　　 　　（Cs ： 530 Bq / kg )　相馬市

　　　 No. 918 福島県　　 イノシシ　　　 　 （Cs ：4100 Bq / kg )　南相馬市

No. 919 福島県　　 イノシシ　　　 　　（Cs ：1900 Bq / kg )　双葉町

No. 920 福島県　　　イノシシ　 　　　 （Cs ：1100 Bq / kg )　大熊町

　　　No. 922 福島県　　 イノシシ　　　 　　（Cs ： 120 Bq / kg )　三島町

No. 928 福島県　　 イノシシ　　　 　　（Cs ： 110 Bq / kg )　三島町

No. 929 福島県　　 ツキノワグマ　 　 （Cs ： 120 Bq / kg )　三島町

　 No. 931 福島県　　　イノシシ　　　 　　（Cs ： 410 Bq / kg )　福島市

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１４２４報）　2024/12/24**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_47353.html>

　１　自治体の検査結果

岩手県、宮城県、仙台市、山形県、埼玉県、千葉県、杉並区、神奈川県、横浜市、新潟県、京都府、大阪市

　※ 基準値超過　５件

　No. 858 宮城県　　 イノシシ肉　　　 　　（Cs ： 110 Bq / kg )　大崎市

　No. 859 宮城県　　 イノシシ肉　　　 　　（Cs ： 130 Bq / kg )　大崎市

　　　No. 885 宮城県　　 イノシシ肉　　　 　　（Cs ： 140 Bq / kg )　大崎市

　No. 900 宮城県　　 イノシシ肉　　　 　　（Cs ： 240 Bq / kg )　大崎市

　No. 905 宮城県　　 イノシシ肉　　　 　　（Cs ： 110 Bq / kg )　大崎市

２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　　※ 基準値超過 ４件

　　 No. 24 福島県　　　ツキノワグマ　 　　（Cs ： 110 Bq / kg )　福島市

　　 No. 29 福島県　　 イノシシ　　　 　　（Cs ： 330 Bq / kg )　伊達市

　 No. 36 福島県　　 イノシシ　　　 　　（Cs ： 120 Bq / kg )　天栄村

　　 No. 37 福島県　　 イノシシ　　　 　　（Cs ： 110 Bq / kg )　国見町

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.26　2024（2024.12.25）2024/12/25**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2024/foodinfo202426m.pdf>

**目次**

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. キュウリ に関連して複数州にわたり発生し ている サルモネラ（ *Salmonella*Typhimurium）感染アウトブレイク（2024 年 12 月 19 日付更新情報）

2. 桃、ネクタリンおよびプラムに関連して複数州にわたり発生したリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2024 年 1 月 30 日付最終更新）

**【欧州疾病予防管理センター（ECDC）／欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 合同迅速アウトブレイク評価：魚製品の喫食に関連して長期間にわたり複数国で発生しているリステリア（*Listeria monocytogenes* シークエンスタイプ（ST）173）感染アウトブレイク

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【英国食品基準庁（UK FSA）】**

1. 食品に関する消費者調査「Food and You 2」第 8 回の結果を発表：約 4 人に 1 人が食料不安を感じている

**【アイルランド保健サーベイランスセンター（HPSC Ireland）】**

1. アイルランドの胃腸疾患および人獣共通感染症、2022 年（クリプトスポリジウム症）

**【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】**

1. 生乳の喫飲に関連する病原体への感染予防のために注意すべきこと

**【デンマーク国立血清学研究所（SSI）】**

1. デンマーク国立血清学研究所（SSI）がデジタル技術による感染症対策「Digital Infectious Disease Preparedness」に関する英語版 Web ページを公開

**【ProMED-mail】**

1.コレラ、下痢、赤痢最新情報（86）（85）（84）（83）（82）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.26　2024（2024.12.25）　2024/12.25**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2024/foodinfo202426c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【EC】 欧州委員会、食品接触物質におけるビスフェノール A の使用禁止を採択**

欧州委員会は、健康に有害な影響を及ぼす可能性があるとして、食品接触物質におけるビスフェノール A（BPA）の使用禁止を採択した。この禁止措置は、今年 6 月に実施されたEU 加盟国による賛成投票と、その後の欧州理事会および欧州議会による精査期間を経たもので、欧州食品安全機関（EFSA）による最新の科学的評価を考慮したものである。

**＊ポイント：** BPA の用途は非常に多様なので多大な影響が生じると予想されます。大部分の用途に対する移行期間は 18 カ月間とし、濾過膜の製造への使用など一部の限られた用途については例外的に追加の期間が設けられます。現在 EU では、食品接触物質について規制全体の見直しを行っており、BPA 規制の他にも、セラミック及びガラス質の食品接触材料からの移行物質の規制値の変更や新規導入を検討しているとのことです。

**【EFSA】 食品に含まれる複雑な有機ヒ素化合物のリスク評価**

欧州食品安全機関（EFSA）は、食品に含まれる複雑な有機ヒ素化合物に関するリスク評価の結果を報告した。主に水産物に含まれており、アルセノベタイン（AsB）、アルセノ糖（グリセロールアルセノ糖/ AsSugOH など）、アルセノ脂質などがある。AsB と AsSugOHへの食事暴露は健康上の懸念を引き起こさない可能性が高いと考えられたが、その他のアルセノ糖に関する結論は出せなかった。またアルセノ脂質については毒性データが不十分なためリスクキャラクタリゼーションを実施できなかった。

**＊ポイント：** EFSA が実施しているヒ素に関する一連のリスク評価の一つであり、無機ヒ素（2024 年 1 月）、低分子無機ヒ素化合物（2024 年 7 月）に次ぐ科学的意見です。これらの科学的意見をもとに、最後に無機ヒ素と有機ヒ素の複合暴露に関するリスク評価を予定しているとのことです。

**【EPA】 EPA は殺虫剤クロルピリホスのほとんどの食品用途を取り消す規則を提案**

米国環境保護庁（EPA）は、11 種の食用及び飼料用作物に関連するトレランスを除き、クロルピリホスに関するすべてのトレランスを取り消す規則案を発表した。食用作物 11 種は2020 年の暫定登録審査決定案（PID）で用途の候補として特定された、アルファルファ、リンゴ、アスパラガス、チェリー、柑橘類、綿花、桃、大豆、イチゴ、甜菜、小麦（春および冬）であり、PID で評価された特定の州に限定されている。2025 年 2 月 10 日まで意見を募集する。

**【ご挨拶】** 2024 年の最終号となります。国内では紅麹含有製品による重篤な健康被害の問題があり食品安全行政の歴史に残る年となりました。海外では PFAS 関連、米国食品医薬品局の組織再編（ヒト用食品プログラム）、新たな食糧源及び生産システムに関するニュースが目立ちました。来年も引き続き食品安全の海外情報をご紹介していきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。皆さま、よいお年をお迎えください。

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**★***Link***紅麹を含む健康食品関係について【令和6年4月11日更新】**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2024/foodinfo202420ca.pdf>

**■***NEW***食品安全委員会（第968回）の開催について　2025/1/9**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和7年1月14日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３．議事

　（１）食品安全基本法第１１条第１項第１号の食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときについて

　　　（消費者庁からの説明）

　　　・安全性審査の手続の導入及び第一種特定化学物質の取扱いの変更に伴う食品衛生法（昭和22年法律第233号）第18条第１項の規定により定めた器具及び容器包装の規格基準の改正

（２）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

　　　・動物用医薬品　２品目

　　　（農林水産省からの説明）

　　　　グレプトフェロン及びトルトラズリルを有効成分とする豚の注射剤（フォーセリス注射液）

　　　　ケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ケトフィス）

　　　・遺伝子組換え食品等　１品目

　　　（消費者庁からの説明）

*Trichoderma reesei* RF6199株を利用して生産されたペクチナーゼ

（３）薬剤耐性菌に関するワーキンググループにおける審議結果について

　　　・「家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針の一部改正（案）」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

　　　・「食品を介して人の健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについての一部改正（案）」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（４）その他

４．動画視聴について

：本会合については、その様子を動画配信するとともに、会場での傍聴も受け付けます。動画の視聴又は会場での傍聴を希望される方は、1月10日（金）12時までに、内閣府共通意見等登録システム(<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1404.html>　にて申し込みいただきますようお願いいたします。

　動画の視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに視聴に必要なURLを、1月14日（火）12時までに御連絡いたします。

　　なお、会場での傍聴席は限りがありますので、傍聴を希望される方が多数の場合には原則として先着順とさせていただき、傍聴可能な方には1月10日（金）18時までに御登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡いたしますので、受付時間（13：30〜13：50）までに会議室入口で受付をお済ませください。受付時間終了後は入場出来ませんので、ご了承ください。会場で傍聴できない方については、動画視聴に必要なＵＲＬをご送付させていただきます。

　　また、当日の配布資料につきましては、会議開催前までに食品安全委員会のウェブサイト（　<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>　）に掲載予定ですので、必要に応じて参照いただきながら、ご覧ください。

※動画視聴時の録画及び録音、画面撮影はご遠慮ください。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***「食品のリスク管理に関するリスクコミュニケーションの推進に向けた消費者庁と食品安全委員会の更なる連携強化について」を掲載しました　2025/1/7**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai/mission.html#m-3>

<https://www.fsc.go.jp/iinkai/mission.data/consumer_safety_cms203_250107_01.pdf>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和6年11月9日から令和6年11月22日）2024/12/17**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2024&from_month=11&from_day=9&to=struct&to_year=2024&to_month=11&to_day=22&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***小林製薬が製造する紅麹関連製品による健康被害について**<https://www.maff.go.jp/j/syouan/kaishu.html>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**★***Link***水産物の放射性物質調査の結果について**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html>

**★***Link***鳥インフルエンザに関する情報**

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

**■***NEW***岩手県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内18例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2025/1/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/250108_1.html>

　岩手県盛岡市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内18例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明しH5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）岩手県盛岡市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内18例目、1月2日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***茨城県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内16例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2025/1/8**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/250108.html>

　　茨城県八千代町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内16例目）について動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明しH5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）茨城県八千代町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内16例目、12月29日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（　3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***鹿児島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2025/1/7**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/250107.html>

　　本日（1月7日（火曜日））、鹿児島県霧島市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内21例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：鹿児島県霧島市

飼養状況：約12万羽（肉用鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月6日（月曜日））、鹿児島県は、同県霧島市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月7日（火曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***国際原子力機関(IAEA)による海洋モニタリングに関する報告書の公開　2025/1/6**

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kenkyu/250106.html>

　　今般、IAEAは令和5年10月に実施した分析機関間比較の結果を公表しましたのでお知らせします。この分析機関間比較にはカナダ、韓国、中国の分析機関も参加しました。

なお、令和4年から実施されているALPS処理水に係る海域モニタリングの裏付けを目的とした分析機関間比較の令和5年度の実施結果をまとめた報告書については、IAEAから別途公表される予定です。

1.概要

国際原子力機関（IAEA）では、日本政府の要請に基づき、我が国の海域モニタリングデータの信頼性、透明性の確保について日本政府を支援するため、平成26年から分析機関間比較（＊ILC：Interlaboratory Comparison）を実施しており、水産庁は平成27年度から水産物の試料採取等を担当しています。

今般、IAEAは、令和5年10月に実施した分析機関間比較の結果を公表しました。本報告書において、IAEAは、前回の報告に引き続き、海洋試料中の放射性核種の分析に参加した日本の分析機関の試料採取方法は適切であり、かつ、参加した日本の分析機関が高い正確性と能力を有しているとしています。

＊ILC

放射能を分析する機関が、試料の採取から分析までの過程において同一の試料を用いて放射能の測定及び分析結果の比較を行い、放射能測定方法の適切さを確認するもの。

2.報告書の公表

報告書（原文）は以下のURLにて入手可能です。また、報告書の概要の仮訳は以下の添付資料をご覧下さい。

<https://www.iaea.org/sites/default/files/24/12/japan_ilc_2023_report.pdf>

＜添付資料＞

2023年の報告書概要（仮訳）(PDF : 110KB)

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kenkyu/attach/pdf/250106-1.pdf>

3.その他

IAEAが作成したILCの紹介動画は下記URLから閲覧することができます。

<https://www.iaea.org/newscenter/multimedia/videos/the-fukushima-data-checkers-monitoring-the-monitors>

（参考）

令和5年10月11日付けプレスリリース「国際原子力機関（IAEA）との共同事業の一環として実施する水産物採取について」<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kenkyu/231011.html>

お問合せ先

増殖推進部研究指導課　担当者：中山、高野、野村

代表：03-3502-8111（内線6782）　ダイヤルイン：03-6744-2030

**■***NEW***香港向け家きん由来製品の輸出再開について（宮城県、北海道及び岐阜県）　2025/1/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/250106_1.html>

　　本日より、我が国の家きん由来製品の最大の輸出先である香港向けについて、宮城県、北海道及び岐阜県からの輸出が再開されましたのでお知らせします。

1．概要

高病原性鳥インフルエンザによる我が国の家きん由来製品の輸出への影響をできる限り小さくするため、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港、シンガポール、米国、ベトナム、マカオ当局については、非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

一方、発生県からの輸出再開について協議を行ってきたところ、今般、香港当局との間で、高病原性鳥インフルエンザに関する清浄性が認められた宮城県、北海道及び岐阜県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所において香港向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

また、今回の協議により、香港向け輸出については、防疫措置完了から28日が経過した日（宮城県：令和6年12月15日、北海道：令和6年12月15日、岐阜県：令和6年12月21日）に遡って、同日以降に生産・処理された家きん由来製品の輸出が認められたため、「同日以降に生産・処理された家きん由来製品」について、輸出検疫証明書の交付が可能です。

なお、同県からのシンガポール、米国、ベトナム及びマカオ向けの家きん由来製品の輸出は再開済みです。

＜2023年の輸出額＞

鶏肉の総輸出額：26億円（うち、香港22億円）

鶏卵の総輸出額：70億円（うち、香港67億円）

出典：財務省「貿易統計」

＜これまでの経過＞

令和6年11月10日：宮城県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認（宮城県からの家きん由来製品の輸出が一時停止）

令和6年11月12日：北海道において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認（北海道からの家きん由来製品の輸出が一時停止）

令和6年11月19日：岐阜県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認（北海道からの家きん由来製品の輸出が一時停止）

令和6年12月15日：宮城県及び北海道は、防疫措置完了から続発なく28日経過したため再度清浄エリアとなる

令和6年12月21日：岐阜県は、防疫措置完了から続発なく28日経過したため再度清浄エリアとなる

**2．参考**

**各国の家きん由来製品の輸出停止状況については、以下のページよりご確認いただけます。**

**URL：**<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/exkakin_teishi.html>

**お問合せ先**

**消費・安全局動物衛生課　担当者：柳澤、三原**

**代表：03-3502-8111（内線4584）ダイヤルイン：03-3502-5994**

**■***NEW***愛知県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2025/1/6**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/250106.html>

　　本日（1月6日（月曜日））、愛知県常滑市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内20例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：愛知県常滑市

飼養状況：約12万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月5日（日曜日））、愛知県は、同県常滑市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月6日（月曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***岩手県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2025/1/5**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/250105.html>

　　本日（1月5日（日曜日））、岩手県軽米町の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内19例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：岩手県軽米町

飼養状況：約5万羽（肉用鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月4日（土曜日））、岩手県は、同県軽米町の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月5日（日曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***岩手県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2025/1/2**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/250102.html>

　本日（1月2日（木曜日））、岩手県盛岡市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内18例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：岩手県盛岡市

飼養状況：約12万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月1日（水曜日））、岩手県は、同県盛岡市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月2日（木曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***愛知県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2025/1/2**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/250102_1.html>

　　本日（1月2日（木曜日））、愛知県常滑市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内17例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：愛知県常滑市

飼養状況：約14.7万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月1日（水曜日））、愛知県は、同県常滑市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月2日（木曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***茨城県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2024/12/29**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241229.html>

　本日（12月29日（日曜日））、茨城県八千代町の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内16例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：茨城県八千代町

飼養状況：約108.5万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（12月28日（土曜日））、茨城県は、同県八千代町の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（12月29日（日曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■鹿児島県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内15例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2024/12/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241226_1.html>

　　鹿児島県霧島市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内15例目）について動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明しH5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）鹿児島県霧島市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内15例目、12月20日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■宮崎県川南町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内12例目）に係る移動制限の解除について　2024/12/26**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241226.html>

　　宮崎県は、県内川南町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内12例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和6年12月26日（木曜日）午前0時（12月25日（水曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）宮崎県は、令和6年12月3日に県内川南町の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内12例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限区域（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限区域（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）宮崎県は、令和6年12月15日に発生農場の半径3kmから10km以内の区域について設定している搬出制限を解除しました。

（3）今般、宮崎県は、発生農場の防疫措置が完了した令和6年12月4日の翌日から起算して21日が経過する令和6年12月26日（木曜日）午前0時（12月25日（水曜日）24時）をもって、移動制限を解除しました。

**■愛媛県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内14例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2024/12/24**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241224.html>

　　愛媛県西条市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内14例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）愛媛県西条市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内14例目、12月19日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■香港向け家きん由来製品の輸出再開について（島根県、新潟県及び香川県）　2024/12/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/241220_1.html>

　　本日より、我が国の家きん由来製品の最大の輸出先である香港向けについて、島根県、新潟県及び香川県からの輸出が再開されましたのでお知らせします。

1.概要

高病原性鳥インフルエンザによる我が国の家きん由来製品の輸出への影響をできる限り小さくするため、輸出相手国・地域との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港、シンガポール、米国、ベトナム及びマカオ当局については、非発生県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

一方、発生県からの輸出再開について協議を行ってきたところ、今般、香港当局との間で、高病原性鳥インフルエンザに関する清浄性が認められた島根県、新潟県及び香川県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所において香港向けの輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

また、今回の協議により、香港向け輸出については、防疫措置完了から28日が経過した日（島根県：令和6年12月9日、新潟県及び香川県：令和6年12月11日）に遡って、同日以降に生産・処理された家きん由来製品の輸出が認められたため、「同日以降に生産・処理された家きん由来製品」について、輸出検疫証明書の交付が可能です。

なお、同県からのシンガポール、米国、ベトナム及びマカオ向けの家きん由来製品の輸出は再開済みです。

＜2023年の輸出額＞

鶏肉の総輸出額：26億円（うち、香港22億円）

鶏卵の総輸出額：70億円（うち、香港67億円）

出典：財務省「貿易統計」

＜これまでの経過＞

令和6年10月31日：島根県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認（島根県からの家きん由来製品の輸出が一時停止）

令和6年11月6日：新潟県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認（新潟県からの家きん由来製品の輸出が一時停止）

令和6年11月7日：香川県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認（香川県からの家きん由来製品の輸出が一時停止）

令和6年12月9日：島根県が、防疫措置完了から続発なく28日経過したため再度清浄エリアとなる

令和6年12月11日：新潟県及び香川県が、防疫措置完了から続発なく28日経過したため再度清浄エリアとなる

2.参考

各国の家きん由来製品の輸出停止状況については、以下のページよりご確認いただけます。

URL： <https://www.maff.go.jp/aqs/topix/exkakin_teishi.html>

**■加工食品のカーボンフットプリント（CFP）の算定実証の実施について 2024/12/20**

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/241220.html>

**農林水産省は、令和6年度の加工食品のカーボンフットプリント（CFP）の算定実証を実施しますので、お知らせいたします。**

**1.背景**

**「みどりの食料システム戦略」の実現等に向け、「持続可能な食料生産・消費のための官民円卓会議」※1の下に「温室効果ガスの見える化作業部会」を設置し、フードサプライチェーン全体での脱炭素化の実践と、その「見える化」を進めるための食品産業の取組について議論してきました。**

**上記作業部会において、民間企業を主体としたタスクフォースを設置して議論を深め、加工食品の温室効果ガス排出削減に関する取組が国内消費者の選択・行動変容につながるよう、カーボンフットプリント（CFP）※2の算定に関する業界の自主算定ルールの方向性が提案されたことを受けて、食品関係事業者等が中心となって、令和5年12月に「加工食品共通CFP算定ガイド案」（以下、算定ガイド案）が策定されました。**

**さらに、算定ガイド案を用いて実際に算定した場合の課題等を検証するための実証を実施した結果、算定ガイド案の妥当性について一定の確認ができた一方で、幅広い事業者が取り組みやすい算定ガイドの作成が課題となりました。**

**1：持続可能な食料生産・消費のための官民円卓会議：食品製造・流通、外食、金融、商社といった企業のトップや、経済団体、農業団体、消費者団体、NGO、農林水産省、地方自治体など、食のサプライチェーンの幅広い関係者が対話を通じて情報や認識を共有するために設置された会議体**

**2：カーボンフットプリント（CFP）:製品・サービスのライフサイクル全体を通じた温室効果ガス排出量**

**2.算定実証について**

**今年度は、幅広い事業者が取り組みやすい算定ガイドとするため、以下の実証を行います。**

**〔対象範囲〕原材料調達段階から廃棄・リサイクル段階まで。製品の販売時に一体不可分なものを含む。**

**〔実証時期〕令和6年12月から令和7年2月まで**

**〔参加企業〕イオン株式会社、カゴメ株式会社、株式会社日清製粉ウェルナ、ハナマルキ株式会社、ポッカサッポロフード＆ビバレッジ株式会社**

**〔対象品目〕魚肉ねり製品、トマト加工品、小麦粉、米みそ、清涼飲料水**

**添付資料**

**加工食品CFPにかかる取組概要**

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/attach/pdf/241220-1.pdf>

**加工食品共通CFP算定ガイド案**

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/attach/pdf/241220-2.pdf>

**令和5年度の算定実証結果**

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/attach/pdf/241220-3.pdf>

**参考**

**関連リンク：持続可能な食料生産・消費のための官民円卓会議**<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/kikaku/entaku_kaigi.html>

**・温室効果ガス見える化作業部会**<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/climate/visual/roundtable.html>

**お問合せ先**

**（加工食品のCFP算定について）**

**大臣官房みどりの食料システム戦略グループ　担当者：古田、但田、小木曽**

**代表：03-3502-8111(内線3289)　ダイヤルイン：03-6744-2473**

**（持続可能な食料生産・消費のための官民円卓会議全般について）**

**大臣官房新事業・食品産業部企画グループ、新事業・国際グループ**

**担当者：春日、岡本、堀口**

**代表：03-3502-8111 (内線4139)　ダイヤルイン：03-6744-2065**

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**★***Link***紅麹関連の情報**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/036992>

**■***NEW***食品のリスク管理に関するリスクコミュニケーションの推進に向けた消費者庁と食品安全委員会の更なる連携強化について [PDF:207KB]**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/food_safety/assets/consumer_safety_cms203_250107_01.pdf>

**■保健機能食品等に関する説明会について　2024/12/27**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_with_health_claims/info_session/>

**■食品寄附ガイドライン～食品寄附の信頼性向上に向けて～(2024年12月25日)**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/conference/assets/consumer_education_cms201_241225_01.pdf>

**■食品表示法に基づく食品表示基準の一部改正に係る消費者委員会への諮問について　2024/12/25**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/040562/>

　　消費者庁では、本日、食品表示法(平成25年法律第70号)第4条第6項の規定により準用することとされた同条第2項の規定に基づき、食品表示基準(平成27年内閣府令第10号)の一部改正に係る消費者委員会への諮問を行いましたので公表します。

詳細

1.諮問内容

食品表示基準の一部改正

2.諮問に至った経緯

以下の内容を踏まえて食品表示基準を一部改正するものです。

(1) 栄養強化目的で使用した食品添加物に係る表示免除規定の削除

令和2年3月公表の「食品添加物表示制度に関する検討会報告書」を踏まえ、第3条第1項、別表第4「個別の表示ルール(名称、原材料名、添加物、内容量)」及び別表第24「一般用生鮮食品の個別的表示事項」に規定された、一般用加工食品の横断的義務表示における添加物の免除規定のうち、栄養強化の目的で使用されるものに関する記述を削除することとする。

(2) 栄養素等表示基準値等の改正

(ア)令和6年10月公表の「「日本人の食事摂取基準(2025年版)」策定検討会報告書」(厚生労働省)を踏まえ、別表第10「栄養素等表示基準値」に規定している栄養素等表示基準値を改正することとする。また、併せて、別表第12「栄養成分の補給ができる旨の表示の基準値」に規定している栄養素等表示基準値を根拠に基準値を決定している栄養強調表示の基準値も改正することとする。

(イ)令和5年度に実施した調査において、「食物繊維」については、低含有量である場合、大きな試験室間誤差が生じることが確認されたため、

・許容差の範囲の見直し、

・0と表示することができる量の規定を追加

を行う等、別表第9「栄養成分及び熱量の表示単位、測定法、許容差の範囲及びゼロと表示できる場合の含有量」に規定している当該物質の許容差の範囲等を改正することとする。

(ウ)令和5年度に実施した調査において、ビタミンB群における高速液体クロマトグラフ法について、分析方法として食品表示基準に位置付けることが適当である旨の評価があったことを踏まえ、別表第9「栄養成分及び熱量の表示単位、測定法、許容差の範囲及びゼロと表示できる場合の含有量」に規定している当該物質の測定及び算出の方法を改正することとする。

(3) 個別品目ごとの表示ルールの見直し

令和6年度に開催された「個別品目ごとの表示ルール見直し分科会」における検討結果を踏まえ、別表第3「食品の定義」、別表第4「個別の表示ルール(名称、原材料名、添加物、内容量)」、別表第5「名称の規制」、別表第19「追加的な表示事項」、別表第20「表示の様式」及び別表第22「表示禁止事項」について、所要の見直しを行うこととする。

公表資料

食品表示法に基づく食品表示基準の一部改正に係る消費者委員会への諮問について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/food_labeling_cms201_241225_03.pdf>

関連リンク

消費者委員会への諮問

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/other/>

問合せ先

消費者庁食品表示課　斎藤、森川

電話番号 03-3507-9138(直通)

**■経口補水液(けいこうほすいえき)について**

**「経口補水液について」のページを新設しました。**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/foods_for_special_dietary_uses/oral_rehydration_solution>

**■食品中の放射性物質の調査結果 (令和6年2～3月調査分)　2024/12/20**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/040422/>

　　令和6年2～3月調査分の食品に含まれる放射性物質の摂取量調査結果を公表いたします。

詳細

～放射性物質は基準値の設定根拠である年間線量1ミリシーベルトの0.1%程度～

食品衛生基準審査課(旧厚生労働省食品基準審査課)は、国立医薬品食品衛生研究所に委託して、令和6年2月から3月に、全国15地域で、実際に流通する食品を購入し、混合して測定し、食品中の放射性セシウムから受ける年間放射線量を推定しました。

調査の結果、食品中の放射性セシウムから、人が1年間に受ける放射線量は、0.0006～0.0010ミリシーベルト/年と推定され、これは現行基準値の設定根拠である年間上限線量1ミリシーベルト/年の0.1%程度であり、極めて小さいことが確かめられました。

なお、測定時に放射性セシウム(Cs-134とCs-137の合計)濃度が0.5Bq/kg以上となった試料については、放射性ストロンチウム(Sr-90)及びプルトニウム(Pu-238、Pu-239+240)も調査することとしています。今回、調査対象となる放射性セシウム濃度が0.5Bq/kg以上の試料はありませんでした。

食品衛生基準審査課では、今後も継続的に同様の調査を行い、食品の安全性の検証に努めていきます。

参考: 東京電力福島第一原発の事故に由来して、食品中の放射性物質から長期的に受ける線量の大半は、放射性セシウムによるものとされています。

公表資料

食品中の放射性セシウムから受ける放射線量の調査結果(令和6年2～3月調査分)

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/standards_cms105_241220_001.pdf>

問合せ先

食品衛生基準審査課　青木、西、春田　電話番号 03-3507-9351

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）★紅麹関連**

**★日本一鶏肉研究所「かしわバター丼の具、ほか8商品」 - 返金／回収　レトルトパウチシール部分の圧着不足が判明　2025/1/9**

**★第一フーズ「国産若鶏レバー糀煮」 - 交換／回収　カンピロバクター検出　2025/1/9**

**★さかもと「味付田作り、くるみ田作り」 - 返金／回収　カビによる汚染　2025/1/7**

**★マルレ「MARRE ドライアプリコット」 - 返金／回収　国内ではアプリコットへの使用が認められていない添加物（ソルビン酸）が0.10g/kg検出されたため　2025/1/7**

**★コモディイイダ（徳丸西台店、徳丸店、高島平店）「ザクザク濃厚キャラメル、ほか計79点」 - 返金／回収　製造日、消費期限の誤表示　2025/1/7**

**★コルドンヴェール「セビリアプレミアム スナックパック グリーンオリーブ（種抜）塩分60%カット」 - 返金／回収　一部の商品においてカビの発生が確認されたため　2025/1/6**

**★ニチレイフーズ「ローソン アイス 1.1kg」（東京都、埼玉県、山梨県内のローソン128店舗で販売） - 返金／回収　ガラス片が混入した可能性があるため　2025/1/6**

**★近鉄百貨店「味付田作り、くるみ田作り」 - 返金／回収　カビによる汚染　2025/1/6**

**★近鉄百貨店（奈良店）「黒旨牛ローストビーフ、肩ロースチャーシュー」 - 返金／回収　ラベル誤貼付によるアレルゲン「小麦、大豆、豚肉」「卵、乳成分、牛肉」の表示欠落　2025/1/6**

**★小浜海産物「Micolle ささ燻 サーモン」 - 返金／回収　アレルゲン「さけ（サーモン）」の表示欠落　2025/1/6**

**★イトーヨーカ堂（安城店）「白す干」 - 返金／回収　ふぐの稚魚に似た異物が混入していたことが判明　2025/1/6**

**★養老軒「極ー塩まめ大福、ほか3商品」（アピタ名古屋空港店で販売） - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：26.01.04、正：25.01.04）　2025/1/6**

**★西山酒造場「小鼓 純米大吟醸　路上有花 黒牡丹」 - 交換／回収　カビが発生したため（ビン口の一部に黒色のカビが付着）　2024/12/27**

**★フジ「刻みかぶら、きゅうり浅漬、ゆず白菜、白菜浅漬、かぶ胡瓜」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：25.12.30、正：24.12.30）　2024/12/27**

**★大昌貿易行「マカロニ：Angelina ペンネリガーテ」 - 返金／回収　めん類への使用が認められていない着色料（黄色4号）が検出されたため　2024/12/27**

**★エフコープ生活協同組合「北海道味付け数の子一口カット 、北海道味付け数の子1本羽」 - 回収　賞味期限の誤表示（誤：冷凍から冷蔵へ温度帯を変更後+21日、正：冷凍から冷蔵へ温度帯を変更後+18日）　2024/12/27**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■：行政発表が見つからなかったもの　　■：行政発表**

**★細菌性食中毒★**

**■食品衛生法違反者等の公表　2025/1/9　港区**

**カンピロバクター**

<https://www.city.minato.tokyo.jp/shokuhinkanshi1/kurashi/shokuhin/anzen/kyoka.html>

　公表年月日　令和7年1月9日

業種等　飲食店営業

施設の名称及び施設の所在地

施設の名称　 焼き鳥　平良

施設の所在地　東京都港区

不利益処分等を行った理由 食中毒の発生

原因食品　令和6年12月17日に調理し、提供した料理（鶏料理を含む）

原因物質　カンピロバクター

主な適用条項

食品衛生法第6条第3号の規定に違反するので同法第60条第1項を適用

不利益処分等の内容　令和7年1月9日から令和7年1月15日（7日間）の営業停止命令

備考 公表時の患者数：4名

カンピロバクターは、鶏、豚、牛などの腸管に分布しています。食品や飲料水を通してヒトの体内に入ると、感染後1日から7日位の潜伏期間の後、腹痛・下痢・発熱等の症状が現れます。主な原因食品は生の食肉、レバ刺し、加熱不十分の食肉や二次汚染を受けたサラダ等です。

**■男女３人に下痢や発熱などの症状 カンピロバクター食中毒で若林区の飲食店を３日間の営業停止処分〈仙台〉　1/8(水) 10:08配信　仙台放送****宮城県仙台市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/38629f54384a6622c5e4f23ab559068721e9391e>

**仙台市内の飲食店で刺身やアジフライなど食べた男女3人がカンピロバクター食中毒 　仙台・若林区　1/7(火) 19:42配信　tbc東北放送　宮城県仙台市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7e235707d20603b53024ef172389f972043828e0>

**仙台 若林区の飲食店で３人が食中毒 ３日間の営業停止処分**

**01月07日　17時46分　宮城 NEWS WEB　宮城県仙台市**

**カンピロバクター**

<https://www3.nhk.or.jp/tohoku-news/20250107/6000029888.html>

**食中毒事件概要　ページID：78432更新日：2025年1月7日　健康福祉局生活衛生課**

**宮城県仙台市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.sendai.jp/sekatsuese-shokuhin/syokutyudoku/gaiyou250107.html>

　発生概要

1.発生月日　　令和7年1月1日　水曜日

2.原因施設

屋号　　　対馬家

所在地　　仙台市

3.摂食者数　　3名（男性2名、女性1名）

4.発症者数　　3名（3名とも20代）

5.原因食品　　令和6年12月29日　日曜日に提供された飲食店の食事

6.病因物質　　カンピロバクター・ジェジュニ

7.主症状　　　発熱、水様性下痢、腹痛

8.摂食時間　　12月29日　日曜日　19時～

9.発症時間　　1月1日　水曜日　14時～

発生の探知と調査の概要

1.1月3日（金曜日）、発症者より若林区役所あて、以下のとおり連絡があった。

上記飲食店を3名で利用したところ、2名が下痢や発熱等の症状を呈している。

うち1名は症状が重く、救急搬送され、入院している。

2.若林区、青葉区、宮城野区および泉区保健福祉センター衛生課にて調査を行ったところ、発症者らは12月29日(日曜日)に3名で当該施設を利用し、3名とも同様の症状を呈していることが判明した。

3.市保健所では次のことから、当該施設が調理、提供した食品を原因とする食中毒と断定した。

・発症者に共通する食事は、当該施設が調理、提供した食事のみであること。

・発症者3名の症状および潜伏時間がカンピロバクターによるものと一致し、またいずれの検便からもカンピロバクター・ジェジュニが検出されたこと。

・患者を診察した医師から、食中毒の届出があったこと。

提供食品

アジフライ、白キクラゲのサラダ、マッシュポテト、お造り5点盛り(マグロ、サーモン、ホタテ、イカの塩辛、クジラ)、牛バラ焼き、レバニラ炒め、アルコール類

検査状況（検査機関　仙台市衛生研究所）

1.発症者便　3検体（カンピロバクター・ジェジュニ陽性3検体、他検査中）

2.従事者便　1検体（検査中）

3.施設ふきとり　5検体（検査中）

行政処分等（仙台市保健所）

飲食店営業停止処分

1月7日（火曜日）から9日（木曜日）まで3日間（処分日1月7日）

施設改善命令書および改善指示書の交付

**■沖縄県宜野湾市の飲食店で食中毒　鶏レバー食べた10人に下痢や発熱　カンピロバクター検出**

**1/2(木) 14:37配信　沖縄タイムス　沖縄県宜野湾市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f0040aadeb7a7cf8c09674c78507b654f26da97a>

**■大垣の居酒屋で４人が食中毒、レバーなど食べ下痢や腹痛　店を営業禁止処分に**

**2024年12月31日 18時38分　中日新聞****岐阜県大垣市**

**カンピロバクター**

<https://www.chunichi.co.jp/article/1006534>

**令和６年　岐阜県の食中毒発生状況　2024/12/24****岐阜県大垣市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/428030.pdf>

発生年月日　2024/12/24

発生場所　滋賀県他

摂食者数　6

患者数　4

原因食品　12月21日に提供された食品

病因物質　カンピロバクター

血清型別等　調査中

原因施設　飲食店（大垣市）

摂食場所　飲食店

**食中毒の発生（令和6年12月31日）**

**記事ID：0406310 2024年12月31日更新 生活衛生課　岐阜県大垣市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/pressrelease/406310.html>

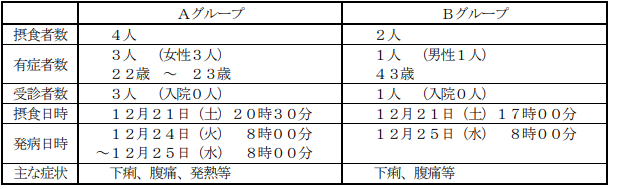
<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/428029.pdf>

　令和6年12月27日（金曜日）14時45分頃、大垣市内の住民から「12月21日（土曜日）に大垣市内の飲食店を利用し、複数名が下痢、腹痛、発熱等の症状を呈した。」旨、西濃保健所へ連絡がありました。

　西濃保健所では、患者ら全員に共通する食事は当該施設内で調理された食品に限られること、患者の便からカンピロバクター属菌が検出されたこと、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と断定し、本日、行政処分を行いました。

　発生状況等の概要は下記のとおりです。なお、患者らはいずれも快方に向かっています。​

1　発生状況



　　2　主なメニュー

鶏肉の溶岩焼、鶏の炙りレバー、だし巻き卵、ブリの刺身、鶏そば、アイスクリーム等

3　原因食品　調査中

4　病因物質　カンピロバクター属菌

5　原因施設

　　　　屋　号：溶岩焼てげ（ようがんやきてげ）

　業　種：飲食店営業

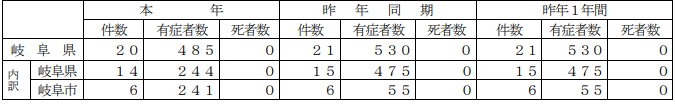
　所在地：岐阜県大垣市

6　検査　原因究明のため、引き続き患者ら及び従業員の検便、調理場等の検査を実施中。

7　措置

　　　　　西濃保健所では、当該施設を12月31日（火曜日）から食品衛生法に基づく営業禁止処分とした。（再発防止措置が講じられた後に解除する。）

　岐阜県における食中毒発生状況（１２月３１日現在、本件を含む）



**■倉敷市の飲食店で13人が食中毒　下痢や発熱、店に29日から5日間の営業停止処分**

**2024/12/29(日) 18:25配信　山陽新聞デジタル　岡山県倉敷市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/150b97c4ba3c3a673c4176c2139c40d20fdd4abc>

**岡山県の食中毒発生状況　2024/12/24　岡山県倉敷市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.okayama.jp/page/696964.html>

発生年月日　2024/12/24

発生場所　倉敷市

患者数　13

原因食品　不明（令和6年12月23日に提供された食事）

病因物質　調査中

原因施設　飲食店（倉敷市）

**■飯塚市の飲食店で食中毒の疑い　男性5人グループのうち4人が下痢や発熱など食中毒のような症状を発症　症状はいずれも快方へ向かう　12/27(金) 8:44配信　RKB毎日放送**

**福岡県飯塚市**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/cd71354a362e7603eb6078190ec557f8e31d67ea>

**食中毒（疑い）が発生しました　発表日：2024年12月26日 18時30分　生活衛生課**

**福岡県飯塚市**

**調査中**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20241224-1.html>

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/241171.pdf>

　次のとおり食中毒（疑い）が発生したので発表します。

１　事件の探知

　　令和６年１２月２６日（木）、飯塚市内の住民から、同市内の飲食店を利用したところ食中毒様症状を呈し、医療機関を受診した旨、嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所に連絡があった。

２　概要

　　　同事務所が調査したところ、１２月２２日（日）１９時００分頃に同市内の飲食店を利用した知人グループ５名中４名が下痢、発熱、嘔吐等の症状を呈していることが判明した。

　　現在、同事務所において、食中毒及び感染症の両面で調査を進めている。

３　発生日時　判明分：令和６年１２月２４日（火）７時１０分頃

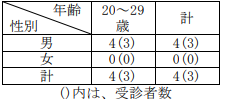
４　摂食者数　調査中　判明分：５名

５　症状　判明分：下痢、発熱、嘔吐等

６　有症者数　調査中　判明分：４名

　　４名のうち３名が医療機関を受診しているが、入院はしていない。

　　重篤な症状は呈しておらず、快方に向かっている。



７ 原因施設、原因食品、病因物質

（１）原因施設：調査中

（２）原因食品：調査中

（３）病因物質：調査中

８ 検査　福岡県保健環境研究所で有症者の便及び従事者の便等を検査予定

９ その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（１２月２６日現在。調査中の事件を除く）

**■食中毒（疑い）が発生しました　発表日：2024年12月13日 14時00分　生活衛生課**

**福岡県中間市**

**調査中**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20241213.html>

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/238742.pdf>

　次のとおり食中毒（疑い）が発生したので発表します。

１ 事件の探知

令和６年１２月１２日（木）、中間市内の住民から、飯塚市内の飲食店を利用したところ食中毒様症状を呈し、医療機関を受診した旨、嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所に連絡があった。

２ 概要

同事務所が調査したところ、１２月３日（火）１７時３０分頃に飯塚市内の飲食店を利用した知人グループ９名中５名が腹痛、下痢、発熱等の症状を呈していることが判明した。

現在、同事務所において、食中毒及び感染症の両面で調査を進めている。

３ 発生日時　判明分：令和６年１２月６日（金）２０時００分頃

４ 摂食者数　調査中　判明分：９名

５ 症状　判明分：腹痛、下痢、発熱等

６ 有症者数　調査中　判明分：５名

５名のうち３名が医療機関を受診しているが、入院はしておらず、重篤な症状を呈した者はいない。　　　

　７ 原因施設、原因食品、病因物質

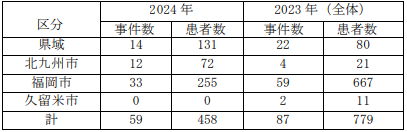
（１）原因施設：調査中

（２）原因食品：調査中

（３）病因物質：調査中

８ 検査　福岡県保健環境研究所で有症者の便及び従事者の便等を検査予定

９ その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（１２月１３日現在。調査中の事件を除く）

**★ウイルスによる食中毒★**

**■飲食店営業施設等に対する不利益処分等　2025/1/8　東京都武蔵野市**

**ノロウイルス**

<https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/shokuhin/ihan/kouhyou.html>

　公表年月日　令和7年1月8日

業種等 飲食店営業

施設の名称及び営業者氏名等

（施設の名称）カフェ　フェルマータ

施設所在地等　東京都武蔵野市

主な適用条項

食品衛生法（食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法（昭和22年法律第233号）。以下「法」という。）第6条の規定に違反するので、法第55条を適用

※食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条の規定により、なお従前の例により当該営業を行うことができるとされた者であるから、当該営業者に対する不利益処分については、この法を適用する。

不利益処分等を行った理由 食中毒

不利益処分等の内容　1月7日から1月9日まで営業停止

備考 （1月7日現在の状況）

原因食品：令和6年12月24日に当該施設が調理し、提供した食事

病因物質：ノロウイルスGⅡ

令和6年12月25日午後6時から12月26日午前1時にかけて、患者3名がおう吐、下痢、発熱等を発症

**■飲食店で食中毒、19人が下痢や嘔吐…調理従事者らからノロウイルス検出**

**1/8(水) 11:43配信　読売新聞オンライン　岡山県岡山市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ad549169dc69e207a62928fe8f3a002f728300cb>

**岡山の飲食店で食中毒か　19人が下痢や嘔吐訴え**

**1/7(火) 17:47配信　山陽新聞デジタル　岡山県岡山市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d4fbfab26f12c6bb38d2bfcf32826896c6b05e3b>

**ＪＲ岡山駅近くの飲食店でノロウイルスによる食中毒　１９人が下痢やおう吐の症状　３日間営業停止【岡山】　1/7(火) 15:46配信　OHK岡山放送****岡山県岡山市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f6a71c34eeecb5c75e2a79814c0823e7f7e1f887>

**岡山市の飲食店でノロウイルスが原因の食中毒　店を3日間の営業停止処分【岡山】**

**1/7(火) 15:38配信　RSK山陽放送　岡山県岡山市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1f14e791810a06bd1ed795e2ec0ec83ed8142630>

**食中毒事件の発生について　2025/1/7　岡山市広報連絡資料　岡山県岡山市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.okayama.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000067/67373/20250107_virus.pdf>

　１ 概 要

令和７年１月３日（金）１２時頃、「令和６年１２月２９日に市内飲食店で会食した後、数名が体調不良になった。」との通報が飲食店利用者から当市保健所にありました。

同保健所で調査したところ、当該飲食店を利用した３グループ２０名中１９名が下痢、嘔吐、発熱等の症状を呈していることが判明しました。

有症者に共通する食事は、当該飲食店で提供された食事のみであること、有症者及び調理従事者の便からノロウイルスを検出したこと、有症者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、当該飲食店が提供した食事を原因とする食中毒事件と断定しました。

　件 名　食中毒事件の発生について

事件の概要

令和７年１月３日（金）１２時頃、「令和６年１２月２９日に市内飲食店で会食した後、数名が体調不良になった。」との通報が飲食店利用者から当市保健所にあった。

同保健所で調査したところ、当該飲食店を利用した３グループ２０名中１９名が下痢、嘔吐、発熱等の症状を呈していることが判明した。

有症者に共通する食事は、当該飲食店で提供された食事のみであること、有症者及び調理従事者の便からノロウイルスを検出したこと、有症者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、当該飲食店が提供した食事を原因とする食中毒事件と断定した。

調査者数　２０名

患者数　１９名 【内訳】男（２０歳代１７名、４０歳代２名）うち入院者０名

原因（と推定される）食事の調製者

所 在 地 ：岡山市

屋 号 ：大衆酒場魚炉八

営業の種類 ：飲食店営業

献 立

シラスと豆腐のサラダ、刺身（タイ、タコ、ホタテなど）、ブリの幽庵焼き、カキのみそ焼き、鶏の唐揚げ、茶碗蒸し、炊き込みご飯 など

検査物等

施設内ふきとり： １５検体 検査場所：岡山市保健所

患 者 便： ４検体 検査場所：岡山市保健所

従 事 者 便： ４検体 検査場所：岡山市保健所

原因食品　調査中

病因物質　ノロウイルス

行政処分

営業停止処分（令和７年１月７日（火）から令和７年１月９日（木）までの３日間）

　参 考 事 項

１．令和５年の岡山市内での食中毒発生状況 ２件 ３２名

（３月：ノロウイルス、６月：腸管出血性大腸菌Ｏ１５７）

２．令和６年の岡山市内での食中毒発生状況 ３件 ５２名

（１月：ノロウイルス、４月：ノロウイルス、７月：動物性自然毒(ふぐ)）

３．令和７年の岡山市内での食中毒発生状況（今回の事件を含む）

　　　１件 １９名

市民のみなさまへのお願い

ノロウイルスによる食中毒は、冬季を中心に１年を通じて発生しています。

引き続き、手洗いの励行（調理前、食事前、用便後）、調理器具の洗浄消毒の徹底、食品の十分な加熱（８５～９０℃で１分３０秒以上）をお願いします。調理器具の消毒には、熱湯や塩素系漂白剤が有効です

**■名古屋コーチン焼きなどが原因か 石川県小松市の居酒屋で男女4人からノロウイルス検出**

**1/1(水) 12:08配信　MRO北陸放送　石川県小松市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/238823315e6351e8442ba2f819a0cf9cbea26590>

**正月三が日営業停止処分…飲食店で食中毒 生ガキなど食べた男女が下痢や嘔吐の症状訴える**

**1/1(水) 11:46配信　石川テレビ　石川県小松市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/31a483215e701595bc35b281f3381109e3808a0e>

**■沖縄・竹富町の居酒屋で食中毒12人　ノロウイルス検出**

**2024/12/31(火) 15:03配信　沖縄タイムス　沖縄県竹富町**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8e0929ba07bbe8c8bd53f8e734a67a8d3a5b4aad>

**■【忘年会で食中毒】39人が下痢や嘔吐等の症状…患者10人から"ノロウイルス"を検出＿札幌市中央区の居酒屋に営業停止命令…札幌市保健所　2024/12/30(月) 20:00配信**

**北海道ニュースUHB　北海道札幌市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2b88d353721f1a33cdf1af8e36c37709fe21ae73>

**札幌　中央区の飲食店でノロウイルスによる食中毒　39人が下痢・発熱・嘔吐など　店は来月３日まで営業停止　2024/12/30(月) 17:59配信　HTB北海道ニュース　北海道札幌市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ab8c3b89547202fc6c6d04d9662739adaa968500>

**刺身など食べた39人が食中毒 うち10人からノロウイルス検出 札幌の居酒屋５日間の営業停止　2024/12/30(月) 17:28配信　STVニュース北海道　北海道札幌市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3612e851c0f5ef4a83de576771913f8e314943ab>

**飲食店で食事の39人「ノロウイルス」食中毒判明　店員介して食材に汚染か　店員は事前に体調不良訴えたが…北海道札幌市　2024/12/30(月) 17:12配信　HBCニュース北海道**

**北海道札幌市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f5eacd233619956d62c4fce6cdea66e3b263325d>

**宴会で食中毒 刺身や白身魚を食べて39人が体調不良 便から”ノロウイルス” 札幌市**

**2024/12/30(月) 14:39配信　STVニュース北海道****北海道札幌市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/fc2d0f5f474ad550beb15f944b80fec68c14c544>

**営業施設に対する行政処分等　2024/12/30　北海道札幌市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/kohyo/info.html>

発生年月日　令和6年12月21日(土曜日)

患者数　39名

主な症状　下痢、発熱、嘔吐等

病因物質　ノロウイルス

業種等　飲食店営業

施設名称及び所在地　海鮮個室酒場 伊まり 大通駅前店　札幌市

主な適用条項　食品衛生法第6条(第3号該当)

行政処分を行った理由　食中毒の発生　(原因食品：12月20日(金曜日)に提供された食品)

行政処分の内容

営業停止処分：5日間

(停止期間：令和6年12月30日(月曜日)～令和7年1月3日(金曜日))

**■鹿児島県日置市の飲食店で食中毒　３０人が嘔吐などの症状**

**2024/12/29(日) 12:37配信　KKB鹿児島放送　鹿児島県日置市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/95f951ab333a3a72c8a9814d07c82af3c5fe295c>

**にぎりずしで食中毒、4日間の営業停止処分　調理従事者3人の便からノロウイルス検出　日置市の飲食店　2024/12/28(土) 21:11配信　南日本新聞****鹿児島県日置市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a41418889a57ca634d81555fb2c6be0415ef4146>

**にぎり寿司など食べた３０人が食中毒　鹿児島・日置市**

**2024/12/28(土) 19:38配信　鹿児島ニュースＫＴＳ****鹿児島県日置市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1df79a57b44fbd3968d418146f1d8c0045e9d6c5>

**★寄生虫による食中毒★**

**■**

**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■腸チフスの入院事例について　令和７年１月８日１４時００分　がん感染症疾病対策課**

**福岡県柳川市**

**感染症　腸チフス**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/241648.pdf>

　　令和７年１月７日、南筑後保健福祉環境事務所に、管内の医療機関から腸チフスの届出があり、患者が入院していることが判明しましたのでお知らせします。

１ 患者

（１）年齢等　１０歳代、男性、柳川市在住

（２）経過

１２月 ２日 発熱、倦怠感出現。その後数日で解熱するが、倦怠感は持続。

１２月１３日 再度発熱。

１２月１６日 発熱に加え、下痢も出現したため、A 医療機関を受診。

１２月２３日 症状が持続したため A 医療機関を再受診。

１２月２７日 症状が改善しないため A 医療機関を再々受診し、B 医療機関を紹介受診、入院。

１月 ７日 検査の結果、腸チフスの感染が判明。

１月 ８日 現在治療中であり、症状は改善傾向。

２ 原因　調査中。

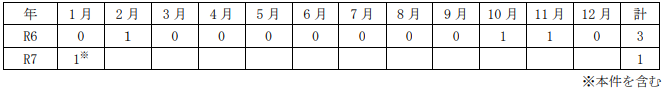
３ 行政対応

　　　南筑後保健福祉環境事務所が患者・家族に対し健康調査、疫学調査を実施し、二次感染予防の指導を行っている。

※ 腸チフス患者・無症状病原体保有者（保菌者）の届出状況

（北九州市・福岡市・久留米市を除く）

（令和７年１月８日現在）



**★ウイルスによる感染症★**

**■感染性胃腸炎の集団発生　盛岡市内２つの教育・保育施設　岩手県**

**1/8(水) 22:25配信　岩手めんこいテレビ　岩手県盛岡市**

**感染症　ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3184e8131d770200831a4278688c16f23dc3000e>

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品・回収等★**

**■洋菓子店「シェ・タニ」 全商品の賞味期限を『適切に再設定』改善報告書を再提出し保健所了承　熊本　1/9(木) 11:46配信　RKK熊本放送**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/68e7ee64a21366f1ef193d230fc3b886ba4b7fb2>

**★その他関連ニュース★**

**■「ヒトメタニューモウイルス」感染拡大　中国で病院に患者殺到　WHO「想定の範囲内」**

**1/9(木) 12:02配信　テレビ朝日系（ANN）**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/48c1d5a0eec600e93ec3a746b0e297143ee996fa>

**春節前に在中国日本大使館が呼吸器感染症の注意喚起 - ヒトメタニューモウイルスなど**

**1/8(水) 13:20配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0c4127bb0a03a6b52dce6dceb4920a2301c319fb>

**中国で呼吸器感染症が拡大　春節前に感染予防呼びかけ**

**1/8(水) 11:45配信　日テレNEWS NNN**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/2b1e3e9052f943a3ee401f5820c141b972e1a367>

**■動物間の鳥インフル拡散防止策訴え、ＷＯＡＨが初の米死者発生で**

**1/9(木) 9:37配信　ロイター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9145e4d52b63ca0af89959eca60feba559db6982>

**鳥インフル関連で米国初の死者、専門家は季節性インフルとの同時感染を警戒**

**1/8(水) 10:44配信　ロイター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0003afbf1180be842545bab362d7eb42c9af022d>

**■麻薬含有のグミ状の固形物を密輸入か　自営業の男（56）を逮捕　成田税関**

**1/8(水) 12:05配信　TBS NEWS DIG Powered by JNN**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/01e93aafa01dac2a5e1a89625507273c5778fff8>

**■クリスマスツリー食べないで ベルギー食品安全庁が警告　1/8(水) 11:49配信　ＡＦＰ＝時事**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ff7461d52d5f183b6bc18fee225f4b10ac25c299>

**■インフル警報値大幅超、ワクチン接種を　1/8(水) 11:11配信　読売新聞オンライン**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/dcfe2a841f85d5eb9619ff0d21c30c3d53bbaf82>

**■クリスマスケーキ毒物混入で３人死亡、義理の娘を逮捕　ブラジル**

**1/7(火) 10:15配信　CNN.co.jp**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/aade41d8a364d973900a81d1995b6d0bffda3666>

**《ブラジル》クリスマスケーキ食べ家族3人死亡＝猛毒ヒ素混入、息子嫁を逮捕**

**1/7(火) 7:18配信　ブラジル日報**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6a85d893dd0dd296a994cde84e543511bf073bd9>

**■岡山大、コロナ後遺症の漢方治療で臨床 - 倦怠感を対象、9月末まで患者募集**

**1/6(月) 18:00配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a82a5e2d9506e288c3b385a57d6bbcdfd1857407>

**■コロナワクチン接種の死亡事例含む55件を認定 - 厚労省の予防接種審査分科会**

**1/6(月) 12:20配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3396b928919e23a68ee33659b8e0258c5a329ac0>

**■日本での大規模食中毒菌と同型の大腸菌、エジプト産乳製品から検出－大阪公立大**

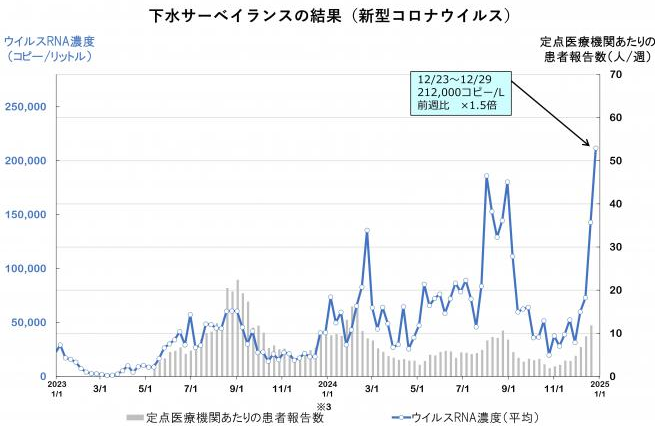
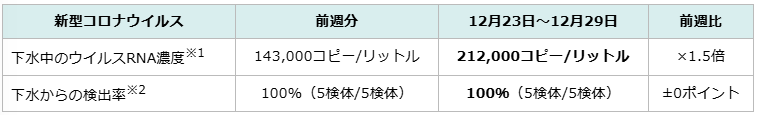
**2025年01月06日　AM09:10　医療NEWS**

<https://www.qlifepro.com/news/20250106/oggp9hg18.html>

**■下水サーベイランス　2024/12/31　北海道札幌市**

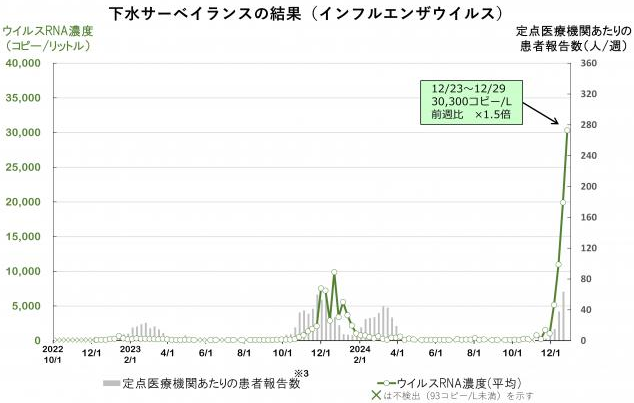
<https://www.city.sapporo.jp/gesui/surveillance.html>

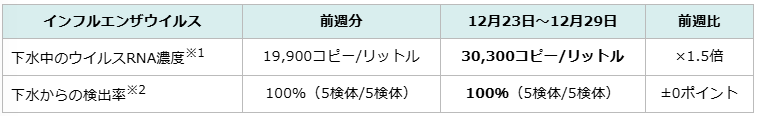
　新型コロナウイルス

　　　ウイルス濃度は前週から大幅に増加しており、警戒が必要です

インフルエンザウイルス





　　　ウイルス濃度は前週から大幅に増加しており、警戒が必要です。

※本調査では、インフルエンザウイルス（A型）を分析対象としています。